

## お気に入り文房具にアレンジしよう！

～Do you have a pen?～  
(Let's Try 2 Unit 5)

本単元で育成する資質・能力

コミュニケーション能力 ・ 主体性

○日 時 令和2年10月1日(木) 5校時 13:55～14:40

### 1 単元について

#### (1) 教材について

本単元は、文房具等学校で使う物や持ち物を題材とし、お互いの持ち物について尋ねたり答えたりすることや、自分の持ち物について、相手と伝え合おうとすること等をねらいとしている。文房具は、学校生活と密接に関わり、店頭で並ぶ多様な種類から自分のお気に入りを選んだり、自分の持っているものと友だちのそれを比べたりする等、児童の興味・関心が高い素材であり、児童は、実際によく使っている文房具を英語でどうなのかを知ることで、英語をより身近に感じることができる。

本単元では、“Do you have～?” “Yes, I do. / No, I don't.” “I [have / don't have]～.” “This is for you.”等の表現を用いて、持ち物について尋ねたり応えたり、また、伝えたりする等児童が本当に考えていることや感じていることを英語でやりとりする。最終ゴールとして、自分の文房具(学習ファイル)をお気に入りに変身させるようにアレンジし、友だちやALTに紹介する場を設定する。児童が実物を手にしながら意図をもって友だちやALTと英語で尋ねたり応えたりする表現に慣れ親しんだり、自分の考えについて話したりすることで、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成にもつなげていくことができる単元であると考えられる。

#### (2) 児童の実態について

本学級は、第3学年3名、第4学年6名の計9名の極小規模の集団である。第4学年は、前年度に外国語活動で簡単な英語表現に慣れ親しんでいるが、第3学年は裁量の時間に色や動物等の語彙に触れている程度で、今までに慣れ親しんでいる語彙や表現の差が大きい。

1学期に3・4学年は、

質問内容	3・4年 児童回答【7月現在】			
	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
ALTの先生や担任の先生の英語を きくことは楽しいです。	3	5	0	0
外国人の先生や担任の先生の話し ている英語の意味が分かります。	1	6	1	
英語を話すことは楽しいです。	2	4	2	
誰か(ALT・HRTを含む)に英 語で話しかけてみるがありま す。	1	3	3	
もっと英語を話せるようになりた いです。	4	4		
英語の授業の時間は楽しいです。	5	2	1	
英語の授業でもっとしたいことは 何ですか?	聞くこと 3	話すこと 2	文字を書くこと 3	文字を読むこと 3

「Hello, world」の学習で“Hello” “Good[morning / afternoon / night].”等の挨拶や “I like~.” “Do you like~?” “Yes, I [do / don’t].”等の好きなものを表す表現, 「Let’s play cards」の学習で “How’s the weather?” “It’s [sunny / rainy / cloudy / snowy].”等の天気を表す表現に慣れ親しんだ。しかし, 第3学年は, 初めて触れる表現が多く, また, 休校やモジュールタイムでの時間の確保も少なくなり, 十分に慣れ親しむことができているとは言えない。

英語アンケートでは, 『英語の時間の授業は楽しい』について概ね肯定的回答しているが, その理由として「英語を知ることができるから」「英語が少しでも言えたらうれしい」「英語を聞いたり, 発音したりできるから」等とし, 英語そのものに触れることを楽しみにしている児童が多い。『英語で話すことは楽しい』と回答した児童の理由には「相手に伝わると嬉しい」「自分が上達していることが分かるから」とあり, 一方, 否定的回答をした児童の理由には「わからない言葉があるから」「あまりしゃべれないから」とあった。失敗することや苦手なことに抵抗を感じている児童がいることを踏まえ, 語彙や表現に十分慣れ親しめるよう取り組む必要がある。コミュニケーション活動等で相手のことや自分のことが互いに伝わるうれしさを感じる場面を積み重ねさせ, 何とかして聞いたり話したりしようとする態度を育成していく取組についても, 今後も継続していく。

### (3) 指導に当たって

#### ①英語表現に十分に慣れ親しませる活動の工夫について

導入時では, HRT と ALT で筆箱に入っている文房具について会話をし, 話題のきっかけをつくる。HRT が自分の筆箱から自分用にアレンジしたお気に入りの文房具を紹介し, 児童にもお気に入りの文房具について問うとともに, 文房具(学習ファイル)を自分の好みに合わせてアレンジして友だちや ALT に紹介しあおうと促す。単元の学習の見通しをもたせうえで, 文房具を持っているか尋ねたり, 持っているかないかを答えたりするための表現を主体的に取得しようとする態度につなげる。

第2時と第3時では, 文房具や学校で使う持ち物を「I spy ゲーム」「BINGO ゲーム」や「カード・ディスティニー・ゲーム」等, 様々なゲームで尋ねたり答えたりする表現に繰り返し触れ, 楽しみながら無理なく慣れ親しませるようにする。また, 【Let’s Chant】で“Do you have ~?” “Yes, I do. / No, I don’t.”の受け答えを視覚的に理解するとともに, 外国語活動の時間だけでなく朝の会やモジュールタイム等で定期的に取り組み, リズムに乗って表現することに慣れ親しめるようにする。

#### ②思考・判断・表現する活動を深めるための指導の工夫

第4時では, 【Activity】において, お気に入りの文房具(学習ファイル)にアレンジさせるための自分の好みの文房具アイテムを集める。文房具アイテムに関してはあらかじめ, ある程度の文房具アイテムが入っている袋をランダムに配布し持たせる。児童に, 自分の好みの文房具アイテムかどうかを確認させ, 足りていない文房具アイテムを友だちに持っているか確認しながら集めてさせていく。自分のお気に入りの文房具(学習ファイル)にアレンジするためには, 何が足りていて, 何が足りていないのかを考えながら, “Do you have~?” “Yes, I do. / No, I don’t.”の表現を活用させる。

その後, 自分が集めて持っている文房具アイテムを“I have~.”の表現を活用してクイズ形式で発表する。その際, 自分のお気に入り文房具(学習ファイル)のアレンジ計画シートを黒板に提示しておき, アイテムの情報を聞きながら, わかった人は, アレンジ計画シートから選び, “This is for (名前).”と答える。クイズ形式にすることで自分の好みで選んだアイテムは何かを相手に伝えるように意識して発表したり, 提示された情報をもとに注意深く聞いたりすることができると思う。

## 2 単元の目標（外国語活動）

単元の目標	育成しようとする資質・能力との関り
・ 文房具等の学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)	<b>① コミュニケーション能力</b> 文房具等の学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする際に、伝えたい内容や自分の考え・思いが伝わっているか確かめながら伝えたり、反応しながら聞いたりすることができる。  <b>② 主体性</b> 文房具等の学校で使う物について伝えたり、聞いたりする際に、分からないことがあってもあきらめないうで、質問したり、本単元で学んだ新たな表現を用いたりしながら粘り強く継続して伝えることができる。
・ 文房具等の学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)	
・ 相手に配慮しながら、文房具等の学校で使う物について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	

## 3 単元の評価規準（外国語活動）

### 関係する領域別目標

#### 「聞くこと」

イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。

#### 「話すこと（発表）」

ア 身の回りの物について、人前で実物等を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	文房具等の学校で使う物や持ち物の言い方、I have/don't have ～. Do you have ～? Yes, I do. / No, I don't. 等の表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	文房具をお気に入りに変身させるようにアレンジする際の参考のために、世界の子どもの文房具等、学校で使う物や持ち物についての話を <u>聞いて意味が分かっている。</u>	※複数単元にまたがって評価を行うため、次の単元で記録に残す評価を行うこととする。
話すこと（発表）	文房具等の学校で使う物や持ち物について、I have/don't have ～. Do you have ～? 等を用いて、話すことに慣れ親しんでいる。	お気に入りに変身させるようにアレンジする文房具について相手に伝わるように工夫しながら文房具等の学校で使う物や持ち物について <u>話している。</u>	お気に入りに変身させるようにアレンジする文房具について相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について <u>話そう</u> としている。

## 4 指導と評価の計画

(全4時間 本時 3/4)

時	学習内容 目標(◆)・主な活動(○【I】)	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆HRT と ALT のやり取りを聞き、単元の見通しをもつとともに、文房具等の学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○【Let's Chant】：I like blue. (3年 Unit 4)</p> <p>○何を話しているのかな？予想しよう HRT と ALT で、自分用にアレンジした文房具について話をする。</p> <p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p>○単元のゴールを設定する。 ALT と HRT のやり取りからゴールの姿を把握するとともに、単元の見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center; border: 2px solid orange; padding: 5px;"><b>アレンジしてみよう！ 自分にぴったりのお好み文房具！！</b></p> <p style="text-align: center;">情報の収集・整理</p> <p>○誌面を見てどのような物があるかを発表し、文房具の言い方を知る。</p> <p>○【Let's Watch and Think 1】 p.18 文房具の言い方を知り、その数を数える。</p> <p>○【Let's Play 1】 I spy ゲーム p.19 ALT や HRT からヒントを聞いて、文房具から該当するものを探して言う。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う</p> </div>
	<p>◆文房具等の学校で使う物や持ち物について聞いたり話したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ BINGO ゲーム</p> <p>○カード・ディスティニー・ゲーム</p> <p>○【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 ペアで、自分の立場で答える形でチャンツをいう。</p> <p>○【Let's Listen】 p.20 ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について HRT や ALT の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>				

3	<p>◆文房具をお気に入りに変身させるようにアレンジする際の参考にするために、世界の子どもの文房具等、学校で使う物や持ち物について話を聞いたり話したりする。</p> <p>○【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19</p>				<p>〔「聞くこと」の記録に残す評価〕</p> <p>◎文房具等、学校で使う物や持ち物について話を聞いて意味が分かっている。</p> <p>&lt;行動観察・テキスト記述分析・振り返りシート点検&gt;</p> <p>◎世界の子どもの文房具等、学校で使う物や持ち物について話を聞いて意味が分かっている。</p> <p>&lt;行動観察・テキスト記述分析・振り返りシート点検&gt;</p>
	<p>○【Let's Watch and Think 2】 p.20</p> <p>・世界の子どもたちが鞆の中の物について話している映像を視聴し、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを□に記入する。</p>	聞	聞		
	<p>○【Let's Play 2】 p.21</p> <p>ペアの1人が文房具カードを誌面において文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>				
4	<p>◆アレンジする文房具について相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について紹介する。</p> <p style="text-align: center;">実行・振り返り</p>				<p>〔「話すこと(発表)」の記録に残す評価〕</p> <p>◎文房具等の学校で使う物や持ち物について、I have /don't have ~. Do you have ~? 等を用いて、話している。【知技】</p> <p>&lt;行動観察・児童作品(アレンジした文房具)・振り返りシート点検&gt;</p> <p>◎アレンジする文房具を相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話している。【思判表】</p> <p>&lt;行動観察・児童作品(アレンジした文房具)・振り返りシート点検&gt;</p> <p>◎アレンジする文房具を相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話そうとしている。【態度】</p> <p>&lt;行動観察・児童作品(アレンジした文房具)・振り返りシート点検&gt;</p>
	<p>○【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19</p>				
	<p>○【Activity】文房具(学習ファイル)を、自分びつたりアレンジしよう。 p.21</p> <p>・アレンジ用のアイテムを集める。</p> <p>・アレンジする文房具(学習ファイル)を紹介するために、持っているアイテムを発表する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	発	発	発	

〔言語材料〕

主な表現 (◎新出 ○既出)	主な語句
<p>◎Do you have ~?</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>◎I [have / don't have] ~.</p> <p>◎This is for □□.</p> <p>○I like ~.</p> <p>○Do you like ~?</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>○What ~ do you like? (第4学年のみ)</p> <p>○~, Please. (第4学年のみ)</p> <p>○How many ~? (第4学年のみ)</p>	<p>身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil, sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar)</p> <p>状態・気持ち (big, small, long, short)</p> <p>形、色、スポーツ、動物、飲食物、数</p>

## 5 本時の指導計画

### (1) 本時の目標

アレンジする文房具について相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について伝え合おうとする。(発表) 【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 評価規準

- ◎文房具等の学校で使う物や持ち物について、I have/don't have ～. Do you have ～? 等を用いて、話している。【知技】
- ◎おすすめの文房具セットについて相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話している。【思判表】
- ◎おすすめの文房具セットについて相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話そうとしている。【態度】

### (3) 準備物

電子黒板(ICT教材)、文房具アレンジ用アイテム、アレンジ計画シート、文房具のカード、表現イラスト(掲示用)、振り返りシート

### (4) 学習の流れ(4時間目/全4時間)

児童の活動	HRT	ALT	活用する英語表現に十分に慣れ親しませる工夫・思考、判断、表現する活動を深めるための指導の工夫 ●評価規準【観点】 <評価方法>
	活動(◇)・支援(※)		
<b>1Greetings</b> (挨拶をする。) <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Hello. How are you? I'm _____. Thank you. And you?           </div>	◇児童の調子を確認する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Hello. How are you? I'm _____. Thank you.           </div> ※元気にあいさつを行い、活動の始まりの雰囲気をつくる。	◇児童の調子を確認する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Hello. How are you? I'm _____. Thank you.           </div> ※元気にあいさつを行い、活動の始まりの雰囲気をつくる。	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>活用する英語表現に十分に慣れ親しませる工夫</b>            ◎前時までに、文房具や学校で使う持ち物を様々なゲームで尋ねたり答えたりする表現に繰り返し触れ、楽しみながら無理なく慣れ親しませておく。             ◎動詞を表すイラストやチャンツのアニメーションで“Do you have ～?” “Yes, I do. /No, I don't.”の受け答えを視覚的に理解するとともに、モジュールタイム等で定期的に取り組み、リズムに乗って表現することに慣れ親しめるようにする。         </div>
<b>2Used</b> (活用したい表現に慣れ親しむ。)  <b>【Let's Chant】</b> <b>Do you have a pen? p.19</b>	◇児童と一緒にチャンツをしながら、前時までに慣れ親しんだ表現について振り返らせる。 ※前時までの学習の足跡を残しておく。	◇児童と一緒にチャンツをしながら、前時までに慣れ親しんだ表現について振り返らせる。	
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an apple? No, I don't. Do you have a pencil? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!           </div>	<b>3 Today's goal</b> (めあてを確認) ◇本時のねらいを確認す		

認する。)

る。

紹介します！  
自分にピッタリお好み文房具 (学習ファイル) !!  
～こんな風アレンジするよ!!～

4 【Activity:文房具 (ファイル) をアレンジするためのアイテムを集め、紹介しよう】 p. 21

※それぞれに文房具 (ファイル) アレンジ計画シートをモジュールタイム等を利用して事前に作成させておく。

・アレンジして自分のお気に入りの文房具 (ファイル) を作る。  
⇒お気に入りのアイテムを集める。

◇ALT とロールプレイを行い、アイテムを集めるやりとりを提示する。  
※伝え合う姿について見通しをもたせる。

◇HRT とロールプレイを行い、アイテムを集めるやりとりを提示する。

**\*HRT→ALT**

A(ALT) : I have a ▲▲ and a ●●.  
I have two ■■. (自分の割り当てられたアイテム (動物や果物や形)を確認する。)  
……I want a◆◆. ……

A(ALT) : Hi, B(HRT). Do you have a◆◆ (自分の希望するアイテム) ?  
B(HRT) : Yes, I do. Here you are.  
A(ALT) : Thank you.  
B(HRT) : Do you have a★★?  
A(ALT) : No, I don't. Sorry.  
B(HRT) : Do you have a▲▲?  
A(ALT) : Yes, I do. But, Sorry.  
B(HRT) : It's O.K. Thank you!

**\*児童⇄友だち・ALT**  
(ペアでやり取り)

・お気に入り文房具にアレンジするために集めたアイテムを紹介する。

**\*HRT→児童・ALT**  
(デモンストレーション)

※児童がアレンジするためのアイテムがそろっているか確認する。  
◇アレンジ計画シートを提示しながら児童が発表する情報と照らし合わせて、だれのものを推測させる。

※ALT は、すべてのアイテムを持っておき、集まっていない児童に声をかけ、やり取りをする。

A(HRT) : Hi.  
I have a▲▲, two■■s, and a●●.  
Which one?/O.K?  
B(ALT) : (シートを選んで手に取り)This is for (名前) !  
A(HRT):○のジェスチャーをする。/ Yes. This is for me.  
×のジェスチャーをする。/No. Which one?  
私は、▲▲と■■と●●が好きです。……の感じになるように工夫しようと思っています。

**思考, 判断, 表現する活動を深めるための指導の工夫**

◎ある程度のアレンジ用のアイテムが入っている袋の中に自分の好みに合うアイテムがあるかどうかを確認させる。そして、足りていないアイテムを友だちに持っているか確認しながら集めていく。  
お気に入りの文房具にアレンジするためには、何が足りていて、何が足りていないのかを考えながら、“Do you have~?”“Yes, I do. / No, I don't.”の表現を活用させる。

◎文房具等の学校で使う物や持ち物について、I have / don't have ~. Do you have ~? 等を用いて、話している。【知技】  
<行動観察・児童作品 (アレンジした文房具)・振り返りシート点検>

**思考, 判断, 表現する活動を深めるための指導の工夫**

◎お気に入りのアイテムに変身させるようにアレンジする文房具 (ファイル) を発表する時には、クイズ形式にする。その際、アレンジ計画シートを黒板に提示しておき、集めたアイテムを“I have ~.”の表現を活用して発表する。

◎お気に入りのアイテムに変身させるようにアレンジする文房具 (ファイル) について相手に伝わるように工夫しながら

<p><b>* 児童→全体</b></p> <p><b>6 Reflect(Today's treasure)</b> 本時の振り返りをする。</p> <p><b>7 Greetings</b></p> <p>Thank you. See you.</p>	<p>◇児童の様子でよかった点や反応を取り上げ随時評価する。 ※4学年児童から発表をさせ、3学年にも良いところを取り入れるよう促す。</p> <p>◇振り返りカードを配布し、めあてを再度確認すると共に、学習について振り返らせる。</p> <p>◇児童の様子でよかった点や反応を取り上げ評価する。</p> <p>Thank you. See you.</p>	<p>◇児童の様子でよかった点や反応を取り上げ随時評価する。 ※戸惑っている児童がいる場合は、簡単な言葉で質問したり、途中まで発話してその続きを児童に任せたりする等して、前時までの慣れ親しんだ表現を想起させる。</p> <p>◇児童の様子でよかった点や反応を取り上げ評価する。</p>	<p>ら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話している。【思判表】 &lt;行動観察・児童作品(アレンジした文房具)・振り返りシート点検&gt;</p> <p>◎お気に入りの変身させるようにアレンジする文房具(ファイル)について相手に伝わるように工夫しながら、文房具等の学校で使う物や持ち物について話そうとしている。【態度】 &lt;行動観察・児童作品(アレンジした文房具)・振り返りシート点検&gt;</p>
--	--	--	---

(5) 板書計画

Used 【Chant】

Today's goal

Activity

- アイテム集め
- 発表

Reflect

10/1 **おすすめの文房具セットをつくろう**

**紹介します！自分にピッタリお好み文房具（学習ファイル）！！**

～こんな風にアレンジするよ！！～

アレンジ計画シート  
(児童①)

アレンジ計画シート  
(児童②)

アレンジ計画シート  
(児童③)

アレンジ計画シート  
(児童④)

アレンジ計画シート  
(児童⑤)

アレンジ計画シート  
(児童⑥)

アレンジ計画シート  
(児童⑦)

アレンジ計画シート  
(児童⑧)

アレンジ計画シート  
(児童⑨)

アレンジ計画シート  
(ALT)

アレンジ計画シート  
(HRT)

アレンジアイテム

Do you have アイテム ?

Yes, I do.

No, I don't.

I have アイテム アイテム アイテム

アイテム アイテム アイテム

アイテム アイテム アイテム

This is for 分かったマーク